

3月の植物

ホソバナコバイモ (ユリ科)

Fritillaria amabilis Koidz.

早春に開花する植物である。草丈は 10 cm 前後。脊振山系、天山山系、八幡岳、多良岳-経ヶ岳山系に分布する。九州北部の個体は花筒先端が広がるスカート咲であるが、中国地方の個体は筒形である。3月初旬～中旬頃に芽を出し 3月下旬～4月初旬に開花する。5月中旬に地上部は枯れ、長い休眠期に入る。九州中部の山地にはヒゴコバイモが自生している。英国・キュー植物園のローレンス・ヒル氏により新種記載がなされた。彼から連絡がありやり取りを行った。彼はフリチラリア仲間の世界の第一人者である。現在、世界のフリチラリア仲間の本をまとめている。

フリチラリア仲間に園芸植物のバイモもあるが、クロユリも同じ仲間である。“黒百合は恋の花”の歌もあり魅力的である。歌に誘われ 20 代の時に栽培をした事がある。開花し花のにおいを嗅いだところ、強烈な腐敗臭に驚いた。魅力はいっぺんに覚めたのである。

(文責：井上康彦)

